



視点

北海道にフォローの風が吹く

トヨタ自動車北海道株式会社取締役社長 田中 義克

本年当社は創業15周年を迎えました。ここまで順調にすることができましたのも、地元北海道の皆様のご支援のお陰と心より感謝申し上げます。

私どもの会社を取り巻く環境は、この15年間で大きく変わってきている感がしています。特にこの数年間は北海道におけるものづくりへの期待が急速に高まっている様です。長引く道内景気低迷への対策の一つとして、ものづくりの強化による経済活性化が官民で進められています。私どもも、ものづくりを生業とする企業の一つとして、この傾向はありがたいものと思います。

ものづくりを行う上で、北海道には数多くの優れた点があります。北海道は、優秀で若い人材が確保できます。また水やエネルギーも豊富であると同時に、自然に恵まれ、住環境にも優れています。十分可能性に富んだ地域です。

気質も北海道の人は、大変我慢強いと思います。ただ少し悪く言うと諦めも良いようです。

ものづくりは、毎日改善の連続です。決められた約束を守りながら、昨日より今日、今日より明日、より良くなるように諦めないで、チャレンジしていく気持ちが大切です。そういった意味で、人材育成も急務です。維持をしっかりと行い、それだけでなく、常に改善を進める人をつくる。その為には、QCサークル活動などもっと活発にしていけるのが良いと思います。

よくマスコミの方に道内の取引について話すのですが、北海道の企業の方は、出来ない部分があると諦めてしまうケースが多い様です。10のうち9まで出来るのに、出来ないことが1があると諦めてしまう。でも本当はそこが企業の分かれ目になるのではないのでしょうか。出来ない所のノウハウを本州の企業に調査に行くとか、技術供与を受けるとか、積極的に動くべきです。私どももそういった強い意欲をもった企業の方であれば、微力ながらご協力させて頂きたいと思っています。私は本州に出張に行く度に、また本州からお客様がくる度に、北海道の良さをPRしています。

厳しかった時代を超え、北海道に今、フォローの風が吹いていると感じています。

(北海道生産性本部常任理事・苫小牧地区支部長)